

# NEWS LETTER



△ユースボランティア茅ヶ崎 2021 オリエンテーション

## CONTENTS

- ・市民活動応援プログラム  
2021年5月～9月
- ・「新型コロナウイルス」の影響と  
今後の市民活動に関する  
アンケート 2021 集計結果
- ・「さぼちゃんが行く！」ミナスタ
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



2年ぶりにサポセン西側壁面にゴーヤの緑のカーテンを育てています。スタッフの朝晩の水やりと植栽ボランティアさんによる手入れもあり、ようやく実がなり、利用者の皆さんにもお裾分け。募金はすべて市民活動「げんき基金」に寄付します。

## ■ こどたん+プラス 2022



開催決定！ 2022年2月14日(月)～3月13日(日)

サポセン HP 特設ページにて on-line 開催

★サポセン会場での対面開催についても

3月12日(土)、13日(日)で検討中！

(※状況により対面開催は中止する場合があります)



▲前回オンラインイベントの様子はサポセン HP で

2018年度から、子どもたちに遊びやものづくり、様々な学びや体験を通して「ちがさき」の魅力を伝えてきた「こどもたいけん☆ワイワイまつり (こどたん)」。今回から子どもたちと、かつて子どもだった大人たちすべての人に「げんき」を届ける、誰もが楽しめる多世代交流イベントとしてパワーアップします！

イベントをつくる みんながつながる「キックオフ交流会」を開催します！

◆日時：9月10日(金) 18:30～20:30 (Zoom) & 9月11日(土) 10:00～12:00 (サポセンにて対面)

◆対象：市民活動団体、自治会等の地縁団体、学校、事業者、行政、個人など

多世代向け体験プログラムを提供できる方(企画内容についてのご相談受付けます)

◆内容：前回のまつりをふりかえる、本年度参加企画および募集内容の説明

参加者同士の交流～コラボ企画のアイデアが生まれるかも...♪

申込みはコチラ▶



# もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2021年5月～8月 開催報告&これからの予定



## ■ 【開催経過報告】ユースボランティア茅ヶ崎 2021

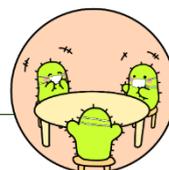
社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会との共催で、中学生から大学生(25歳まで)を対象に夏休みのボランティア体験をコーディネートしています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりましたが、今年は6月1日の受付開始から申込の勢いは好調！6月末には定員(100名)に達しました。今回も高校生の申込が5割以上を占めています。

7月9日～17日には参加者全員を対象とした事前説明会を実施。7～8割がユースボランティアに初めて参加する子たちでした。夏休みに「人のために何か役に

たいたい」「SDGsについて興味がある」など動機は様々。受入れ17団体の皆さんも、将来ある若い子たちの一人ひとりの気持ちを大切に、感染症対策を考えていつもとは異なる体験プログラムを用意して準備万端待っています。

普段、学校生活ではできない体験、そしてボランティアを通じて人や地域と繋がり、何かの気づきになることを願って、9月11日の体験終了日まで参加者の皆さんをサポートします。



## ■ 【開催報告】コロナのモヤモヤおしゃべり会（サポセン利用者懇談会）

6月30日(水)、2団体2名の方が参加。これまで歩いてこられた道のりや活動のきっかけ、メンバーの高齢化や団体同士の連携の難しさについての悩みなど、サポセンスタッフ3名も交えて様々なお話を伺いました。打合せや印刷・作業などでご利用くださる普段のお顔とは異なる面を見せていただき、とても距離が近く感じるようになりました。「参加人数が少ないと聞いてどうしようか迷ったけれども参加して良かった」「団体交流の場をもっと作ってほしい。サポセンはもっと広報して」など感想をいただきました。また企画しますので次回はぜひ一緒に！

## ■ 市民活動のIT支援～スキルアップミニ講座

### 【開催報告】Zoom入門

- ・実施日：6月2日(水)、6月3日(木)の2回連続対面講座
- ・参加者：6名(5団体)
- ・講師：大木 伊都子さん(NPO法人パソコンボランティア湘南理事長)

参加者は地域包括支援センタースタッフや地域団体の方。

今後はZoomを積極的に活用して、ミーティングや研修会を開催したいと感想を寄せてくださいました。



## ■ 市民活動のPCサポート

パソコンボランティア湘南メンバーによるワンポイントレッスン。(場所：サポセン)

Zoomの使い方やOfficeの操作方法、ホームページ記事のアップ方法など、活動上のちょっとした困りごとについて相談できます。

お気軽にご利用ください。

### 【これからの予定】

7月26日(月)

8月9日(月)・30日(月)

①13:00～、②14:30～

(各1時間、事前予約制)

※9月以降も継続実施予定です



PCサポートの詳細はこちら▲

【開催案内】ミニ講座 第2弾！対面講座です！

「Wordでチラシづくり ～中級レベル」

— 画像挿入と便利な編集機能 —

日時：8月24日(火) 13:30～17:00 (受付 13:15～)

場所：ちがさきサポセン フリースペース大

対象：市民活動団体、地域団体や福祉施設等のスタッフなど  
公益共益活動に関わる方で、主に広報の担当者

講師：関山 昭子さん(NPO法人パソコンボランティア湘南)

参加費：500円(資料代として)

申込みはこちら▼

定員：10名(先着順/1団体2名まで)

持ち物：筆記用具、PC(貸出可/要予約)

PC条件：OS/Win10、

マイクロソフト Office ワード 2016 以上

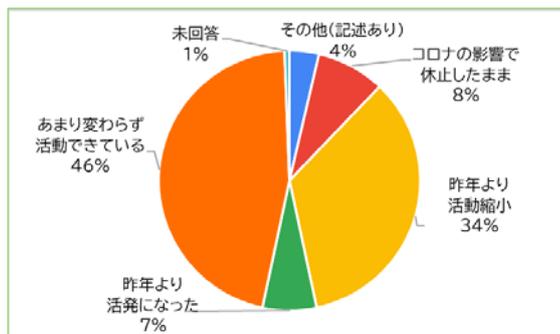


# 【特集】「新型コロナウイルス」の影響と 今後の市民活動に関するアンケート 2021 集計結果

長らく新型コロナの影響と支援ニーズについて、データベース登録 315 団体にアンケート調査を行いました。今後の施設運営や市民活動の支援・推進事業に役立ててまいります。ご協力ありがとうございました。

調査期間：5/20～6/13 回答数：164 団体（法人 39、任意団体 125） 回答率：52%

## Q1 団体の活動全体について（昨年 5 月時点との比較）



この一年「あまり変わらず」「縮小」「休止したまま」「以前より活発」と活動状況は様々ですが、何らかの活動をしていると回答した団体が全体で 87% でした。

### ▶ 「あまり変わらない」の回答内訳

- ・感染症対策をして対面活動 58%
- ・参加人数を制限して事業・イベントを実施 18%
- ・オンラインを活用して活動 14%
- ・その他 10%
- ・緊急事態宣言下では活動休止 / オンラインと対面活動の併用
- ・活動自粛している会員もおり全体の活動の見通しが立てづらい

### ▶ 「昨年より活発」の回答内訳

- ・ZOOM や動画配信など  
オンラインツールを活用し始めた 41%
- ・コロナによる新たな課題解決の取り組み 33%
- ・その他 26%
- ・昨年 5 月は公共施設が閉館で全く活動できなかった。そのときと比べれば活動できている
- ・ユーチューブで配信 / HP の充実、新企画 / 屋外で公開演奏
- ・地域のアーティストとのコラボに力を入れた

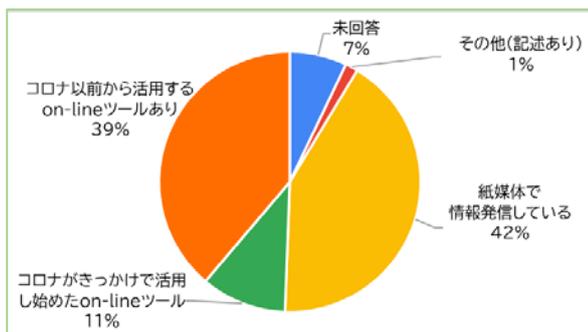
### その他(記述)

- ・今年 2 月に発足。対面イベント、教室開催が難しいように感じる
- ・コロナの影響もあるがメンバーとその家族の健康状態により休止

### ▶ 「昨年より活動縮小」の回答内訳

- ・人が集まるイベント・事業の休止 46%
- ・対面活動の内容を変更 19%
- ・団体の会議などの頻度を減らしている 19%
- ・その他 16%
- ・最小限の活動 / 特定の事業のみ / 活動時間を短縮
- ・人数を制限、感染症対策を最優先
- ・ボランティア提供の中止、会員交流会の中止、老人施設に対するボランティアが激減
- ・他県からのボランティアは自粛
- ・研修・親睦などの対面での活動は殆どできていない。年齢構成を見て分かる通り、オンライン研修・講習などあっても参加できる会員は数名しかおらず、全体の活動として成り立たない
- ・市からの助成金がなくなったため、お金をかけずにできる事をする

## Q2 広報および情報発信について



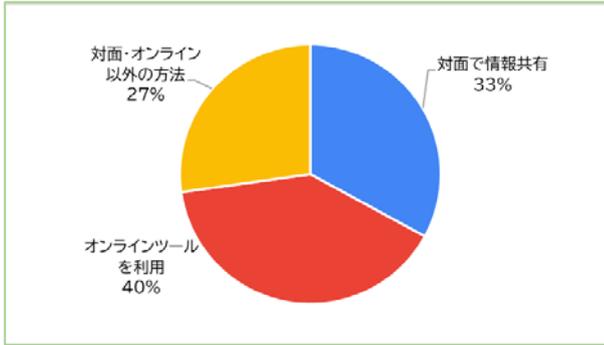
以前から活用しているオンラインツールでは Twitter が 46% と最も多く、次いでホームページ 22%、Facebook 13%、LINE 8%、ブログ 4%、Instagram 3%、YouTube 2%、メルマガ 1% という結果でした。

コロナがきっかけで活用し始めたオンラインツールでは、YouTube 22%、LINE 19%、Instagram 6%、Facebook 5%、Twitter/ブログ/メルマガがそれぞれ 3% の順でした。その他、Zoom/Skype/コーリング/Slack/TfabTile という回答もあり。

紙媒体での発信では、広報紙等の印刷方法について尋ねた結果、サポセン含む公共施設の印刷機利用 40%、会員所有のプリンタで印刷 23%、WEB 印刷への発注 15%、その他、コンビニ、印刷会社、音声版をメール配信や CD で、印刷物は休止中などの回答がありました。

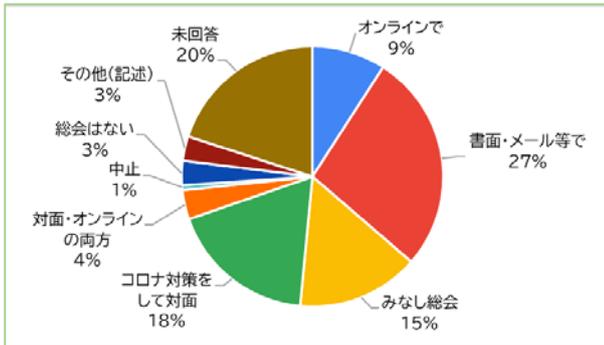
この 4 月からサポセンにも、コピー感覚でサクサク印刷できるカラー印刷機が導入されました。ぜひご活用ください！（フルカラー A4 片面 5 円～、モノクロ A4 片面 2 円～）

### Q3 団体内の情報共有・コミュニケーションについて



昨年度と比べてオンライン活用する団体の割合が増加傾向に。オンラインツールではメール 33%、LINE22%、Zoom18%、Facebook8%、ホームページ 7%の順で多く、その他の多種多様なツールは目的やメンバーによって使い分けがあるようです。その他：ブログ、メルマガ、Gmail メーリングリスト、Google meet、Google documents、Skype、Twitter、Instagram、TfabTile、Special Chat、Slack、Band、サイボウズ、CODMON など  
対面・オンライン以外では、電話・FAX が 55%、会報が 35%。その他、郵送、口頭で、という回答もありました。

### Q4 総会の開催方法について



昨年度は、総会を中止した団体が 19%ありましたが、今年度は総会をしない団体を除いて **73%の団体が何等かの方法で開催した**との回答がありました。

その他(記述)

- ・通常より大きな会場で実施 /対面と ZOOM、書面と混合で実施
- ・入場時の検温・手指消毒・マスク着用は勿論、会場は一席おきの市松状等細心の感染防止対策を講じて開催した
- ・会場出席と電磁的方法により評決しオンラインは傍聴のみ開催にあたっては様々な工夫があったことがわかりました。

### Q5 主な収入源について



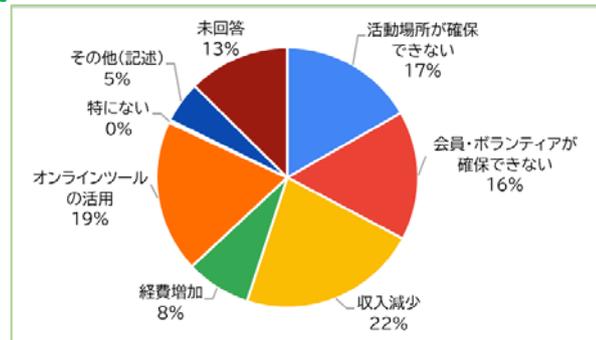
その他：市社協・地区社協からの補助金、資金運用前年度の繰越金を使っている

### Q6 主な支出費目について



その他：オンライン通信費、Zoom 有料アカウント、リース料、委託料、イベント出展料、保険料、団体が所属する組織への年会費

### Q7 団体の困りごと



Q1の回答とも重なりますが、「イベントの中止が多く、活動依頼が減っている」「(団体主催) イベントができない」「施設(介護系社福)での活動中止」「学校などのワークショップ実施場所が見つかりにくい」「安全にイベントを実施することが難しい」など活動そのものできないという声も多く寄せられました。また、「全員参加が叶わない」「マスク着用での会議で声が聞き取りにくい」「モチベーション低下」などコロナ禍ならではの悩みに加え「高齢化」の課題をあげる団体も目立ちました。

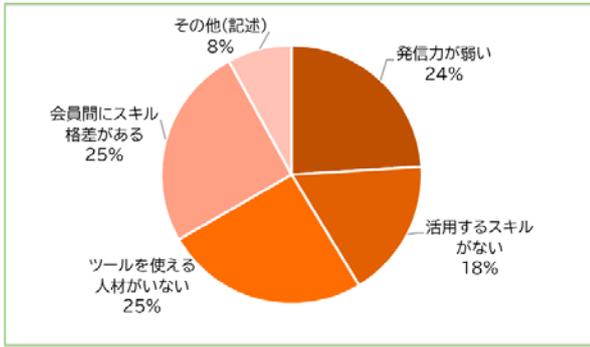
#### ▶ 「収入減少」の回答内訳

- ・事業収入がない 40%
- ・会員減少による会費収入減少 29%
- ・補助金・委託金の休止・廃止 14%
- ・補助金・委託金が減少 8%
- ・その他 9%
- ・ボランティア提供時にいただく寄附金の激減

#### ▶ 「経費が増加」の回答内訳

- ・コロナ対策用消耗品費 53%
- ・on-line ツール購入・利用経費 17%
- ・その他 19%
- ・施設使用料/これまでは公民館で会場費が無料だったが、変更を余儀なくされて経費の大幅支出
- ・練習場所の確保増による会場使用料増加 ・人件費増大

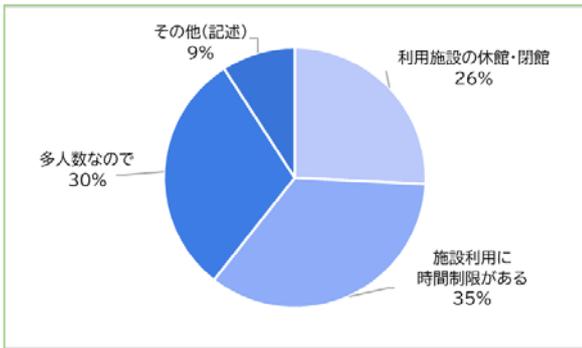
▶ 「オンラインツール活用に課題」の回答内訳



オンラインでの活動については団体内部の課題として「パソコン等ない会員がほとんどでオンライン環境にない」「情報を受け取る側にオンラインツールを使えない人がいる」という声がありました。また団体がオンライン事業を提供しても「参加者が慣れていないので対面より減少してしまう」「ツールがスマホのみなど、受け手側にオンライン設備が不十分」という課題があることもわかりました。

その一方で、「今年の課題として会議・交流会などオンラインを模索する」など前向きな意見もありました。

▶ 「活動場所が確保できない」の回答内訳



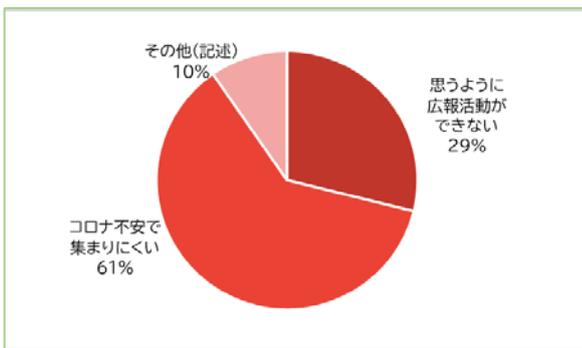
公共施設の利用に関しては、時間や人数、飲食が制限されていることが多いため、不自由を感じている団体が多いようです。

「コロナ禍で分散練習を行うため、練習場所を従来よりも多く確保する必要が起きた」「コースで(80人位)密になるので練習できません」「施設内で飲食できないため、昼食(持込み)を取る場所がない」という声が寄せられました。

サポセンにおいても、現在予約優先・少人数でのご利用とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

その他：茅ヶ崎養護サッカー部が活動休止しているの、一緒に活動していた私達も活動できない  
 就労継続支援 B 型の事業所で自主商品の制作をしているがイベントバザーが中止。WEB で PR できないか？  
 介護施設でのボランティア活動停止 /(文化系団体)練習する場、披露する場、活動する場があれば教えてほしい

▶ 「会員・ボランティア確保の課題」の回答内訳

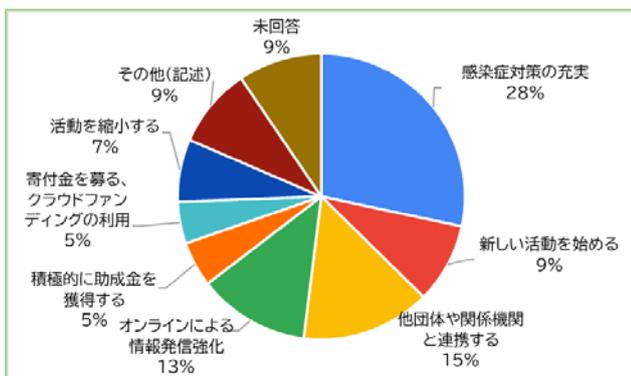


まだまだ「集まりにくい」という状況があり、積極的に広報活動ができていないという悩みが多くありました。

「ボランティア大学が2年続けて中止」「会PRのための場・機会提供がもっとほしい」という要望に加えて「会員拡大に対する会員一人ひとりの熱意(が必要)」という声もありました。

「コロナと関係なく、自然保護作業をする人は集まりにくい。反対にボランティアはコロナのために若い大学生や高校生が参加してくれた」。今年度の「コースボランティア茅ヶ崎」でも海や里山での活動は例年より希望者が多い印象です。

Q8 団体のこれからの取り組みについて

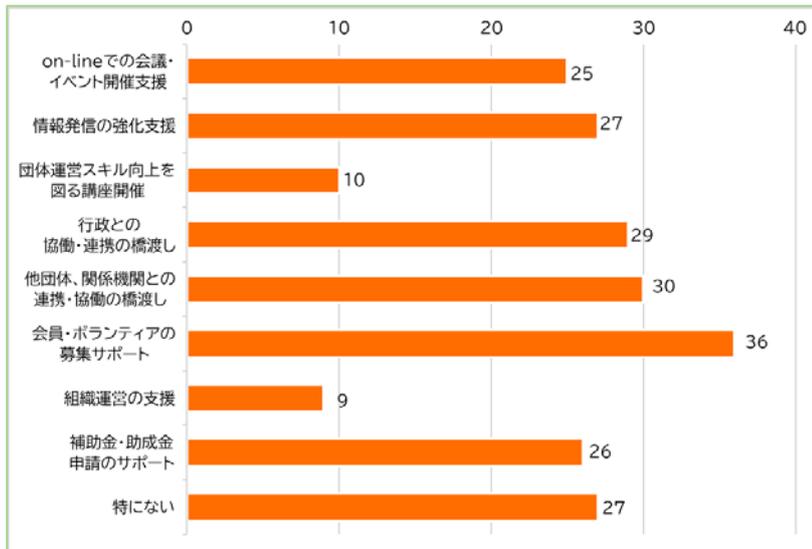


全体的には感染症対策をしっかりと講じた上で、「粛々と活動を続ける。じっと時を待つしかない。現行通り」「今年度はとりあえず現状維持」「できる予算の中でできる事をできる人数で、できる時間で継続する」「コロナの状況により少しずつ対面での活動をできるところから始める」など、活動を止めずにできることを模索しながら続けている団体の姿が浮かび上がってきました。

そんな中「よい内容を提供することで、参加者の皆さんにコロナ禍をのりきる気持ちに少しでも力になれば」というひとことに勇気づけられます。

「助成金獲得」や「オンライン発信強化」など上記取り組みの他にも、今後を見据えて「活動の内容・方向性をさぐる」「コロナ後を見据えて技術向上のための研鑽をする」「新たな観察会の検討を始める。密をさけながら参加者の増加をはかりたい」と新たな一歩を踏み出すために様々な準備をしているという声、「高齢化に対し、現状活動確保」「会員減少に伴い、活動や運営などについて検討が必要になっている」など現状を踏まえての回答がありました。

## Q9 今後、特に必要と感じる団体支援について



SDGsの目標17は「パートナーシップで目標を達成しよう」。ひとつの団体では解決が難しいことも、互いの特性や強みを活かして協力して取り組むことで可能性が広がります。協働に関する個別相談も随時受けています。些細なことでも大丈夫なので、気軽にご活用ください！



団体の活動継続に欠かせない「会員・ボランティアの確保」や「補助金・助成金申請」のサポート、また Q8「団体のこれからの取り組み」でも関心の高かった「オンライン活動」や「情報発信強化」のための支援ニーズが高い結果となりました。

行政や他団体・関係機関との連携を強化したい、「連携・協働の橋渡し」をしてほしいという声も多く寄せられました（全体の23%）。

より多様で複雑化する地域課題の解決に向けて、今後も様々な主体との情報交換、交流事業などを通して、お互いに顔の見える関係性づくりを進めていきます。

## Q10~14 サポセンの事業について（NPO 講座、HP、ニュースレター、IT 支援など）

### ▶NPO 講座の希望テーマ

- 広報：SNS による情報発信 /チラシや広報紙の作り方
- 会計：助成金申請、クラウドファンディング /法人会計
- その他：
  - ・リアルとオンラインのハイブリッド型イベントの運営
  - ・新規会員募集の方法（効果的な発信・講座の組み立て方）
  - ・事業収入でうまくいっている事例、しくみを知りたい

### ▶サポセンからの情報発信に対する要望

- ・新規団体や団体の取り組みをもっと紹介してほしい」（複数）
- 引き続き、団体追っかけレポート「さぼちゃんが行く！」の他にも様々な機会・手段を通して紹介していきたいと思えます。

### ▶IT 支援事業について

「PC サポート」の利用内容：

Zoom 操作、PowerPoint（動画制作含む）など

今後受講してみたい「IT 支援講座」は下記のとおり。



## Q15 今後に向けて、サポセンや行政に対しての提案など（自由記述）



皆様からは、近況報告やサポセン運営に対する肯定的なご意見、励ましの温かいお言葉をたくさんいただきました。また改善を求める声や施設の維持管理をしっかりとしてほしいという声もいただきました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。最後にいくつかご紹介いたします。

- ・（コロナの感染状況にもよるが）市民活動やイベントの中止を簡単に決定しないで欲しい。少しでも継続してできる方法をみなで協議できるように考えたい。
- ・コロナ禍を名目に市の予算が足りないと平和に関する行事や、人々が学ぶ公民館の予算が削られてはいけないと思う。
- ・協働から委託が終了し当会が費用を支出して継続実施している。協働を経た事業の継続について寄附等の応援を呼びかける活動を検討いただけたら助かる。 ・市民活動が止まらないように金銭的支援も復活させて欲しい。
- ・ボランティアをしたいと思っている人はたくさんいる。しかしキッカケがない。活動団体を知らない。税にたよらずとも市や地域をよくし活性化できることはたくさんあるが、うまくマッチングさせることが市民活動センターの最大の任務であると思う。今はボランティア団体の育成・質の向上に重きがありすぎやしないか。
- ・個々の団体が充実を計っていく事は良いが視野の狭さを感じてしまう。他団体の思いや、やり方を知ることが必要ではないか？市民活動→固執→高齢者の図を変え、経験豊富であり柔軟な心を持つ人達のイメージが出来る様頑張ります。
- ・サポセンの企画や、他団体との交流など関心はあるが、余力がなくなかなか参加できず残念。
- ・小規模団体なので運営についてたまに相談にのってもらえるとありがたいです。



# さぼちゃんが行く！



## ミナスタ

「みんながそれぞれのスタイルを大切にしたい」との思いから名付けられた「ミナスタ」。  
2017年に設立し、茅ヶ崎市市民活動げんき基金スタート支援1回、ステップアップ支援2回の補助を受け、市内の保育園で3歳～5歳児を対象にサッカーを通じた運動教室を行っています。

《代表の三浦雅樹さんにお話をうかがいました》

### 子どもたちに運動の楽しさを伝えたい

19歳でプロサッカー選手になった三浦さんは、横浜FCでの活躍後、ドイツに移籍。数シーズン、ドイツでもプレーしました。華やかなプロサッカー選手として活躍した反面、ケガやオフア解消と厳しい現実も経験し、帰国後は日本のクラブチームで数年間コーチとしての経験を積みました。

2014年からサッカースクールを運営する一方で、「子どもたちに運動の楽しさを知ってもらいたい」「子どもたちと一緒に楽しくしたい」「自身が幼少期に経験した褒められる喜びを子どもたちにも経験させたい」との思いから、縁あって保育園児を対象に市民活動団体として活動を始めました。

- 「ミナスタ」では、当初からのポリシーである
- ① 次世代へ身体を動かす楽しさや、人との関わり合いの大切さを伝えること
  - ② 運動・スポーツ・人を好きになってもらうこと
  - ③ 私生活でも自信を持ち、様々なことにチャレンジできる子どもの成長を支えることをテーマに活動を行っています。



新型コロナウイルスの影響で令和2年の活動は当初予定した8つの園から2つの園で計7回の開催となりました。本年もコロナ禍での厳しいスタートですが、保護者の方々や子どもたち、先生方の熱い要望を受け、感染症対策をしっかりと講じたうえで屋外での活動を主体に実施しています。

### 子どもたちの笑顔はじける運動教室

6月末、保育園の了解を頂き5歳児対象の運動教室を見学しました。参加した園児は24人。1グループ12人、45分の運動教室を2回行ないました。使用する道具は安全面に配慮したコーン/マーカー/ゴール/サッカーボールで、ミナスタが用意します。

運動のプログラムは、

- ・円形に置いたマーカー内でのランニング
- ・サッカーボールの投げ上げとキャッチ
- ・ゴールと障害物を使ったドリブルからのシュート
- ・爆弾ゲーム（ゴロのドッジボール）等



サッカーの基礎動作を取り入れた11種のプログラムで構成。合間には子どもたちを飽きさせない軽妙な会話とさりげない技術指導が散りばめられていました。

「カッコいいよ！上手だね！」の声に子どもたちは終始笑顔で動き回り、途中から保育士さんも一緒に真剣勝負。終了間際は、子どもたちから「もう終わりなのー?!」の大合唱となりました。

園児にとって45分間は長いのでは？と感じていましたが、始まるとテンポの良いプログラムと康人コーチ（三浦代表の実弟）の、怪我や体調管理に気を配りながらの軽妙なパフォーマンスに保育士さん共々引き込まれました。終了後、康人さんは「子どもが好きなんです」「子どもたちに挑戦してもらうためには、まず自分が挑戦することが大事だと思うので、毎回、自分が100%楽しむことを心掛けています」と汗を拭きながら満面の笑顔で話してくれました。

### 夢へのチャレンジはつづく

コロナ禍で運動教室の開催を自粛した園からは時期を見て再開したいとの要望があり、実施している園からも、是非継続したいとの声が届いているようです。今はスタッフを限定して活動を実施していますが、この活動を一緒にしたいと言ってくれる方も増えてきているそうです。子どもたちが楽しみに待っているのです。コロナの状況を見ながら更に運動教室を広めたいと話してくれました。

そして、活動についても夢が広がっています。

- ・保育園間の懸け橋になるようなサッカーの交流戦
- ・天候に左右されない室内運動教室
- ・サッカー以外のスポーツも取り入れたプログラム

柔軟に、新しい事を取り入れながら、子どもたちと一緒にチャレンジする仲良し兄弟の夢の継続に期待します。



## ■ 市民活動団体ガイドブック 2021 年度版



8月中旬に登録情報を一斉更新、サポセンHPで公開予定です。※今後、冊子版の発行予定はありません。

ガイドブックWEB版は必要なページをプリントアウトできます。ネット環境がない場合や、PC操作が不安な方は、サポセン窓口まで気軽にお声がけください。

紙面で閲覧ご希望の方は、サポセン窓口、市役所1階市政情報コーナー、4階市民自治推進課窓口にて一覧ファイルをご覧いただけます。

「社会貢献や地域貢献につながる活動に参加したい」「学校や地域で学習会やイベントをする際の講師を探している」「課題解決のため、他団体と協力していきたい」など、市民と団体をつなぐガイドブックとして、ぜひご活用ください！

活動相談や、新規登録も随時受付中！



市民活動団体ガイドブックはコチラから▶

## ■ 市民活動の保険「市民活動等災害補償制度」

市内に活動拠点を置く市民活動団体等を被保険者として茅ヶ崎市が契約している保険で、事前の登録手続きは不要！活動中に起こってしまった予期せぬ事故によるケガ等について補償されます。

[対象となる事故]

- ・ 傷害事故
- ・ 賠償責任事故

詳細は  
コチラから▶



[事故が起きてしまったら]

書類の提出期限は、事故日から1か月以内！

- ・ 事故報告書（茅ヶ崎市HPからダウンロードまたは市役所4階市民自治推進課窓口にて入手）
- ・ 団体の規約
- ・ 事故日の活動内容がわかる書類（日程表、指導者や参加者の名簿など）
- ・ 現場や破損状況がわかる写真、見積書(物損の場合)

## ■ 「げんき基金」マッチング・ギフト積立の一時休止について

「茅ヶ崎市財政健全化緊急対策」及び新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み発出された「令和3年度事業実施方針」により、令和3年10月1日以降に市が受領する寄附に対するマッチング・ギフト積立については、当面の間休止されます。寄附予定の方はお早めに！

## サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

8月							9月							10月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			

・ 8/24PM ITスキルアップミニ講座  
 ・ 9/10NT&9/11AM こどたん+キックオフ  
 ・ 9/17PM ユースボランティア  
 ・ 10/24PM SDGs カフェ  
 ・ 10/下旬 ITスキルアップミニ講座「Excel 応用～中級」(予定)

※茅ヶ崎市「新型コロナウイルス市内感染のまん延防止に係る取り組み方針」や主催イベント開催のため、上記以外でもフリースペースのご利用を制限させて頂く場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

## ちがさき市民活動サポートセンター

**開館時間** 9:30～21:30 (休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3))  
**アクセス** JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度・駐車場14台・障がい者用駐車場1台・駐輪場あり  
**連絡先** 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546  
 E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/  
**編集・発行** 認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき  
 (指定管理期間：2021年4月1日～2026年3月31日)

サポセンキャラクター  
「さぼちゃん」



サポセン HP